

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	E・A・F・L
使用教科書	最新 政治・経済(実教)			使用副教材等	なし				

目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質と能力を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。
評価方法	定期考査、小テスト、ワークシート	定期考査、小テスト、ワークシート、ノート、レポート	振り返り、レポート、発表、活動の様子など

担当者からのメッセージ	政治・経済は社会を理解する上で重要です。歴史や現代の出来事を理解するための鍵となります。今後、主権者として自ら判断をする機会が増えます。授業を通じて、自分の意見を持ち、他者との議論を通じて考えを深めましょう。情報の信憑性を見極め、様々な視点から物事を考える力を養いましょう。また、理論だけでなく、日々のニュースや議論も大切にしてください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	第1編 現代日本の政治 第1章 現代国家と民主政治 ・政治と法の意義と機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・民主政治の本質を基に、現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解している。 現代の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。
1	5 6	第2章 日本国憲法と基本的人権 ・日本国憲法を基に、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 日本国憲法を基に、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解している。 現代の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 民主政治の本質を基に、現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。
1	7	第3章 日本の政治制度と政治参加 ・日本の議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現する。	【知識・技能】 日本の議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解している。 現代の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的】 国民主権を担う公民としての自覚をもとに、民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。

9 ・ 2 ・ 1 0	<p>第2編 現代日本の経済 第1章 現代の経済社会 第2章 現代の日本経済と福祉の向上 第3章 現代日本における諸課題の研究</p> <p>・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p>	<p>【知識・技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解している。 現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的】 国民主権を担う公民として、現代日本の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。</p>
2 ・ 1 1	<p>第2部 現代の国際政治・経済 第1編 現代の国際政治</p> <p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、領土(領海、領空を含む)などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解している。 現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的】 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。</p>
2 ・ 3 ・ 1 ・ 2 ・ 1	<p>第2編 現代の国際経済 第3編 国際社会における諸課題の研究</p> <p>・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 ・国際政治・経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p>	<p>【知識・技能】 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的】 国際社会を担う一員として、現代の国際社会における諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察・構想を意欲的におこなったりしながら、現代社会における自身の役割を積極的に追究しようとしている。</p>